

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	現代の教育		
英文授業科目名			
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	佐々木 啓子		
居室	東1-513		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kesasaki@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
現代社会で営まれている教育は学校のみならず家庭、地域社会、職場と、私たちの生活や生き方と深く関わっている。本セミナーでは教育現象を社会学的な視点でとらえることによって、教育の問題を見直すと同時に社会と教育の関連を明らかにし、社会そのものについての理解を深めることを目的とする。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
配布資料による。

【授業内容とその進め方】

【授業内容】

身近な教育問題をテーマとして、客観的なデータをもとに実態を把握することから始める。次に分析の方法を提示しながら教育問題についての知識を紹介し考察を深める。

主なテーマは以下のようである。

1. 教育問題（いじめ、不登校、学校崩壊）をどう見るか。
2. グローバル化と教育：外国国籍の子どもたち、エスニシティと教育、多文化状況と教育
3. 産業化と教育：経済発展・技術革新と教育、日本的雇用慣行とキャリア形成及びその変容。
4. 人材の発見、選抜、育成、配置、評価。機会の構造。「能力」とは？「実力」とは？
5. 文化と教育：階層文化論、対抗文化論、文化的再生産と教育。
6. 階層・階級、社会移動と教育：格差社会、貧困問題と教育。教育機会の平等。
7. 教育改革の世界的動向、ユニバーサル化する高等教育。

【授業の進め方】

テーマは参加者の問題関心を参考にしながら選びます。まずは教育を社会学的視点で見るとはどうか、教育社会学の方法を学び若干の理論を提示します。次に教育問題について議論しデータを調べると同時に、分析のための知識を学び知見を参加者で共有します。そこから新たな問題や課題が提起できれば成功です。各テーマにつき授業内でコメント書いてもらいます。次週にはそのコメントをもとに議論を発展させていきます。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

教育問題に関心をもつこと。新聞に掲載されている教育記事、特集、コラムを読むこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

各テーマにつき授業内で提出するコメント30%、最終レポート50%、出席率等平常点20%。

【オフィスアワー：授業相談】

短時間（概ね5分以内）であれば適宜可能。それ以外は電子メールで受け付け時間などを相談時間などを設定。

【学生へのメッセージ】

将来、教師を志す人もそうでない人にとっても、教育は皆さんの生活や人生設計に関わってきます。企業に就職すると先ずは新人教育を受けますが次年度には後輩を教育する立場になることもあります。家庭をもてば子どもの教育に関わらざるを得ません。そうした身近な教育の問題点を発見し自ら考えていく態度を養いたいと思います。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
特になし。